

なつっこ

登録番号：第8565号

登録年月日：平成12年12月22日

登録者：長野県(長野県長野市南長野幅
下692-2)

育成者：宮沢孝幸 山西久男 羽生田
忠敬 白田 彰 山下裕之

小松宏光 飯島貞次 馬場孝
幸

来歴：「川中島白桃」と「あかつき」
の交雑実生

育成地：長野県須坂市(長野県果樹試
験場)

特性

■栽培特性

樹勢はやや強く、樹姿はやや開張性を示す。枝梢の太さはやや太く、節間長は中程度である。芽の性状は複芽で、花芽の着生や枝梢の発生は安定している。葉身の形は中、葉の大きさはやや小である。

育成地(長野県須坂市)における開花期は4月下旬～5月上旬で、「川中島白桃」とほぼ同時期である。花は普通咲きで、大きさは大きく、花粉を有する。生理的落果および核割れの発生は少ない。

成熟日数は満開後111～120日の範囲にあり、「愛知白桃」と同時期か、やや早く成熟する。長野県須坂市で8月中～下旬に収穫できる。

■果実特性

果形は扁円形である。果頂部の凹みは深い。こうあ部の広さは広く、深さは深い。縫合線の深さは赤道部、果頂部ともに中程度。果実の大きさは300～350gと大きく、玉揃いは良い。果皮の地色は乳白色、ぼかし状の濃紅色に着色する。裂果の発生は少ないが、無袋栽培では果点荒れが生じやすいため、有袋栽培を基本とする。

果肉色は乳白色。果肉内および核周囲の着色は少ないが、果皮着色が極めて多い場合は果肉内の着色がやや多くなる傾向がある。果肉は緻密で、肉質は溶質である。果汁は多く、糖度は屈折計示度で13～17度となる。酸度はpH5.0前後で酸味は少ない。糖度が安定して高く、酸味が少なく、果汁が多いので食味が優れる。日持ち性は中程度である。核と果肉の粘離は粘核である。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病虫害に対しては他の主要品種とほぼ同等であり、主要な病害虫については十分な防除対策が必要である。

生産性は高く、安定している。異常花、双胚果および核割れの発生は少なく、結実は良好である。生理的落果は「川中島白桃」並みに少ない。

高糖度で食味の良い果実が生産できるので、食味を重視した栽培管理が必要である。樹体の消耗を防ぎ、果実の初期肥大を促すために摘蕾を実施する必要がある。

果面の保護については有袋栽培を基本とする。裂果の発生は少ない傾向であるが、無袋栽培では果点荒れが生じやすい。除袋時期は着色が容易であるので、収穫の7～10日前とする。収穫期は満開後日数で110日前後を目安とする。

■地域適応性

長野県内においては有望と評価されているが、県外での試験事例が少ないため、他県での適応性については不明な点が多い。現在、モモ栽培が行われている地域での適応性はあるものと考えられるが、導入にあたっては試験的に栽培して適地性などを検討する必要がある。

(田尻勝博)